

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和元年12月2日（月）～令和元年12月8日（日）〔令和元年第49週〕の感染症発生状況

第49週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は14.08人と前週（7.36人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.24人と前週（6.30人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.62人と前週（5.05人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

インフルエンザウイルス
★インフルーくん★

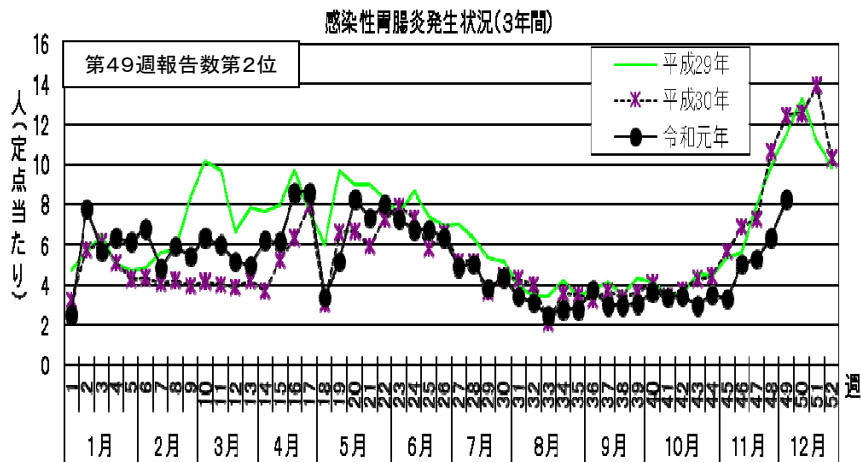
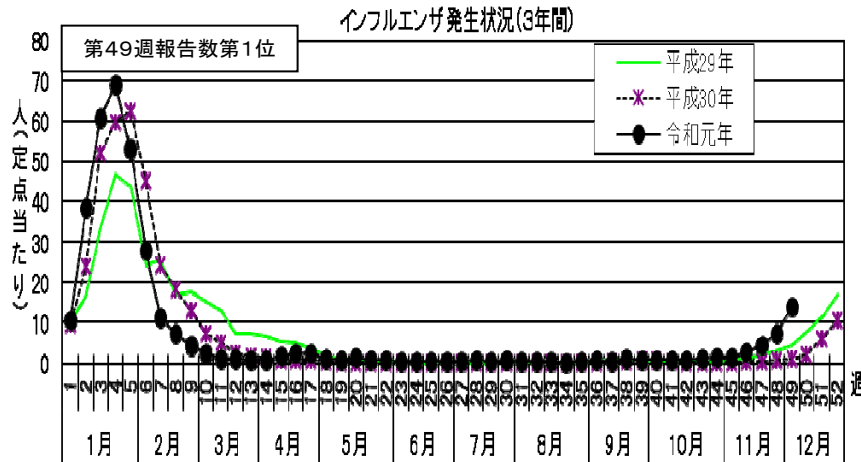
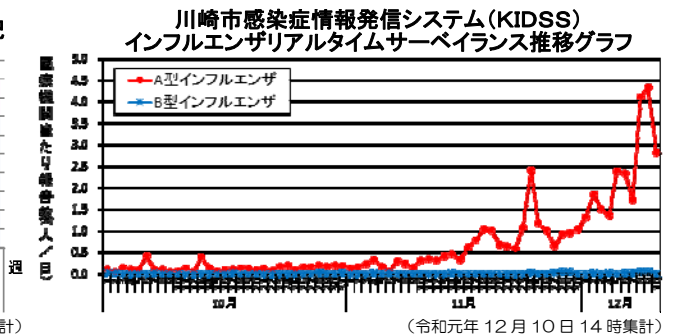
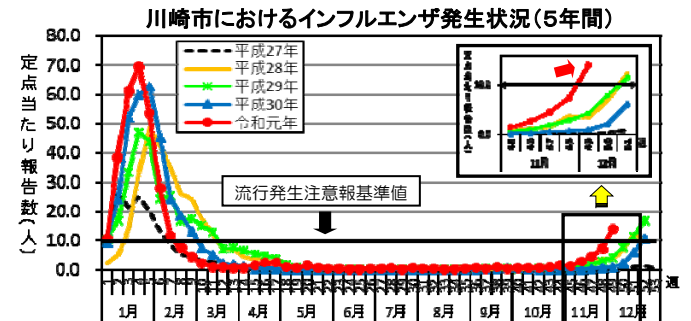


インフルエンザ流行発生注意報発令！

川崎市では、令和元年第49週（12月2日～12月8日）のインフルエンザの定点当たり患者報告数が14.08人となり、流行発生注意報基準値（定点当たり10.00人）を超えたため、市内に流行発生注意報を発令しました。

本市のリアルタイムサーベイランスによると、現在、A型インフルエンザの流行がみられており、健康安全研究所に搬入された検体のほとんどからAH1pdm09型が検出されています。また、市内ではインフルエンザによる学級閉鎖の報告も増えています。

咳エチケットや手洗いなどの予防対策を心がけましょう。



川崎市内の学校等における学級閉鎖等実施状況

